

留萌産トドマツ販路の拡大

韓国輸出に向けた国有林の協力

留萌南部森林管理署

留萌北部森林管理署

取り組みの背景

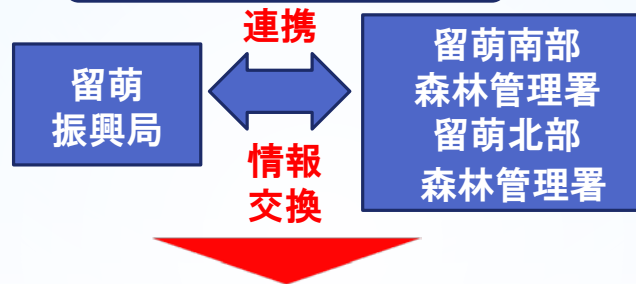
現状

- 留萌地域の人工林は、民有林・国有林ともにトドマツが主体で資源の充実に伴い、素材生産量の増加が予想される。

- 管内に大規模な木材加工施設が無いことから、主に上川・宗谷方面に総じて廉価で出荷されている。



具体的な取り組み



可能な協力量策の検討

平成26年度の取り組み

- 年度内に協力可能な材の生産量・時期等の適切な把握等

地域との連携・効果

- 林政連絡会議・地域林業活性化協議会で販売促進対策の検討、流通状況の情報交換・情報共有等で一層の連携強化
- 民国一体となった事業ベースでの輸出の実現へ繋げていく